

## 【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立内本町デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市内本町2-2-12	設置年月日	平成8年6月12日

### 1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	<b>【規模】</b> 延べ床面積 265.0㎡ 定員数 30人	<b>【開館日等】</b> 開館日 月～土曜日午前8時15分～午後5時15分 休館日 日曜日、年末年始	

### 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 燦愛会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	61,600,000	54,620,664	62,910,000	47,370,722
		その他 (円)	4,000,000	9,990,891	5,000,000	10,081,758
		合計 (円)	65,600,000	64,611,555	67,910,000	57,452,480
	支出	管理経費 (円)	53,000,000	50,341,833	55,200,000	49,582,166
		その他 (円)	0	0	0	0
合計 (円)		53,000,000	50,341,833	55,200,000	49,582,166	
収支差額 (円)	12,600,000	14,269,722	12,710,000	7,870,314		

### 3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,669	6,491	7,392	5,775
2	稼働率 (%)	83.0	71.2	80.0	62.9

#### 4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	意見箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 利用者アンケートでは、送迎時の乗り心地が悪い、異性の職員の入浴介助だと気になる等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に迅速に対応しており、対応結果とその方法を定例会議や日常業務内で共有している。 アンケートで把握した要望には対応方針を決定していた。不満の声があった項目について、アンケート結果から原因を考察のうえ、ぜひ改善されたい。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	利用申し込み前に1日体験デイを実施しており、体験してもらうことで、利用者確保に繋げている。 実際に利用申し込みがあった場合は、送迎範囲や体験利用時の様子に支障がなければ、可能な限り受入れている。
(2)施設の効用の発揮	血圧の上昇、通常と異なる身体状態をケアマネジャーや家族に伝達することで、利用者の健康維持を図っている。また、食事や服薬状況の把握等を朝の迎車時に実施しており、高齢者の在宅支援にも寄与している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっているが、事業計画時の目標人数に至っていない職種がいくつかあるため、人員確保に努められたい。また、職員に対する研修は内容に偏りがなく、計画に沿って毎月行われている。 財政面については、経費削減の結果、収支は毎年黒字であり、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	裏紙の使用や暖房設備の使用頻度の縮減、エコ運転、送迎人数に応じた車両の使い分けを実施している。
(5)その他	事故・災害対応について、マニュアルを複数整備している。搬送時の注意点も記載されており、有事の際に活用しやすい内容となっている。 行事やレクリエーションについて、季節感や身体機能向上に重きを置いて企画している。また、飽きの来ないよう、戸外への散歩、花や野菜の手入れも織り交ぜる工夫を行っている。 新型コロナウイルス感染症の発生や職員の不足等により、利用者数が減少した。人員不足は業界全体の問題でもあるため、人員確保が困難な状況ではあるが、できる限り利用者数の増加に努められたい。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。利用者一人ひとりのわずかな変化も捉え、要望に真摯に向き合うことで、高質なサービスを提供できていた。その結果、利用者アンケートでは、施設の雰囲気や過ごし方、職員の接遇、要望等への対応力に満足の声が多かった。 来年度が指定管理期間の最終年度となるが、募集要項に記載している加算の取得について取り組まれたい。

## 【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立亥の子谷デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市山田西1-26-20	設置年月日	平成11年5月1日

### 1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	<b>【規模】</b> 延べ床面積 482㎡ 定員数 27人	<b>【開館日等】</b> 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

### 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 こばと会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	60,209,000	60,624,433	61,802,000	64,507,896
		その他 (円)	4,931,000	4,744,638	5,172,000	5,885,669
		合計 (円)	65,140,000	65,369,071	66,974,000	70,393,565
	支出	管理経費 (円)	64,169,000	60,202,815	64,265,000	61,845,281
		その他 (円)	0	1,077,839	0	5,357,410
合計 (円)		64,169,000	61,280,654	64,265,000	67,202,691	
収支差額 (円)	971,000	4,088,417	2,709,000	3,190,874		

### 3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,318	7,173	7,318	7,535
2	稼働率 (%)	88.0	88	88.0	90.6

#### 4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	投書箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。また、利用者アンケート内に「新型コロナウイルスについて、心配なこと・困っていること」「生活の中での困りごとや悩み」を記入する欄を設け、家族からのニーズを把握できるよう工夫していた。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 一方で、利用者アンケートでは、入浴時の対応や活動内容の頻度に関するマイナスの声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。日々の会話や利用者アンケートで把握した声は、すぐに解決策を見出し、職員間での指導や利用者対応の変更等、迅速に対応している。また、家族からのニーズについても、内容に応じて提案等を行い対応している。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	可能な限り広く利用者を受け入れている。利用者には、秘密保持について利用開始時に重要事項確認書で確認し、関係機関との情報共有についても同意を得る等、風通しの良い利用環境を整えている。
(2)施設の効用の発揮	レクリエーションは幅広く、季節を感じるものを積極的に企画している。 タオル干しやコップ洗い等の日常生活におけるお手伝いの活動の種類を増やし、利用者の達成感や自信、互いに研鑽する作用に繋げている。また、今月のおすすめ活動と題して、活動の効果を掲示。活動と効果との関連性を周知することで、利用者のやる気を促進している。 利用回数を増やしたいと希望する利用者への対応や新規利用者の受入の手配を迅速に行い、利用者数・稼働率ともに目標値を達成している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっているが、介護職員について、事業計画時の目標人数に至っていないため人員確保に努められたい。多彩な内容の研修を実施し、職員の能力向上を図っている。 財政面に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し休業がない等、おおむね計画どおりの運営を行った結果、収支を黒字に保っており、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷、裏紙の使用、照明の間引き、消灯の徹底、自然乾燥による乾燥機の使用頻度の縮減、備品購入先の見直しを実施している。
(5)その他	マニュアルが多岐にわたり整備されており、職員間での共有・指導が行き届いている。 また、地域のイベントにスタッフや講師として参加する等、地域連携・地域貢献に積極的に取り組んでいる。 毎月発行される亥の子谷デイだより、施設ホームページは見やすいだけでなく、施設での活動内容、雰囲気がよく分かる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。食材費や日用品等の物価上昇、燃料費や光熱水費の高騰による支出の増額があったものの、利用者数の増加に取り組み、高質なサービスを提供しつつ、安定した管理運営を実施できた。また、地域連携・地域貢献の取り組みについても、指定管理申請書に記載の事業以外にも、積極的に取り組み、当初提案していた事業をすべて実施することができた。 今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得を行うとともに、対象者がいた場合には積極的に社会福祉法人軽減事業を実施されたい。

## 【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立千里山西デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市千里山西2-13-2	設置年月日	平成11年9月1日

### 1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	<b>【規模】</b> 延べ床面積 1045.1㎡ 定員数 50人	<b>【開館日等】</b> 午前8時30分～午後5時30分 年中無休	

### 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 寿楽福祉会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	131,023,000	117,982,909	163,181,000	97,780,509
		その他 (円)	12,088,480	8,490,564	11,462,324	10,698,690
		合計 (円)	143,111,480	126,473,473	174,643,324	108,479,199
	支出	管理経費 (円)	139,056,933	129,194,731	145,844,007	136,785,826
		その他 (円)	0	0	0	0
合計 (円)		139,056,933	129,194,731	145,844,007	136,785,826	
収支差額 (円)	4,054,547	△ 2,721,258	28,799,317	△ 28,306,627		

### 3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	16,425	13,538	15,513	11,239
2	稼働率 (%)	90.0	77.8	85.0	62.6

#### 4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話、電話での利用者家族との会話でニーズを把握している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足との結果であり、会話や運動により認知症や運動機能の低下を抑制できている、人との交流によって活力が出たといったサービスの効果を感じる声があった。 一方で、食事の味付け、職員の接遇・連絡方法に関するマイナスの声もあり、課題が明らかとなった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。アンケート結果を全職員で共有し、会議で対応策を検討する等、サービス向上に努めている。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	中重度の利用者も広く受け入れている。また、利用者確保の取り組みとして、写真や動画を用いたSNSやパンフレットによる広報活動、デイサービスセンターの体験利用を実施している。
(2)施設の効用の発揮	中重度の利用者も受け入れている。施設でのコロナ発生による休業、それに伴う利用者数の減少が影響し、昨年度に比べ稼働率が減少したものの、62.6%と一定の水準を維持している。また、自主事業で配食サービス、介護予防居宅介護支援事業等を実施しており、市の施策にも貢献している。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっているが、機能訓練指導員は事業計画時の目標人数に至っていないため、人員確保に努められたい。認知症対応型生活相談員等の専門知識を持つ職員を配置し、認知症高齢者に寄り添ったサービスを提供している。 財政面については、施設でのコロナ発生による休業、それに伴う利用者数の減少が影響し、赤字となった。しかしながら、法人内で連携を取り、サービスに支障を来すことなく、安定的に運営することができていた。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷や裏紙の使用、空調設備の使用頻度の縮減、アイドリングストップ装置付きの車両の導入、エコスタイル、蛍光灯の間引きの実施等に取り組んでいる。
(5)その他	個人情報保護の取扱いについて、研修実施やマニュアル策定が行き届いており、採用時には職員と法人とで誓約書を交わしている。 第三者モニタリング(令和4年10月開催)で指摘のあった、地域連携・地域貢献について、指定申請書にある複数の事業で未実施となっている。新型コロナウイルス感染症が影響したとのことだが、感染対策を講じる等、実施に向け努められたい。また、育児・介護休業規程の改正、施設HPの作成についても改善されていなかった。 いずれも改善を求めるが、特に育児・介護休業規程の改正については従業員の福利厚生に関わるため、早急に改善されたい。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。 主たるデイサービスセンター事業、自主事業だけでなく、個人情報保護、災害時対応等に関しても、マニュアル整備や研修実施をはじめ、綿密に取り組む姿が見られた。 アンケート結果で職員の接遇等、利用者からの声を把握した点については改善に努められたい。また、第三者モニタリングでの指摘事項において、未対応のものがある。来年度が指定管理期間の最終年度となるため、適切に対応されたい。

## 【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立藤白台デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市藤白台2-9-1-115	設置年月日	平成15年4月1日

### 1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	<b>【規模】</b> 延べ床面積 432.7㎡ 定員数 25人	<b>【開館日等】</b> 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

### 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 吹田みどり福祉会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	55,843,000	51,735,085	57,790,000	55,481,904
		その他 (円)	1,217,000	1,279,390	1,270,000	1,880,076
		合計 (円)	57,060,000	53,014,475	59,060,000	57,361,980
	支出	管理経費 (円)	55,116,000	55,110,775	55,678,000	54,485,584
		その他 (円)	0	0	0	376,040
合計 (円)		55,116,000	55,110,775	55,678,000	54,861,624	
収支差額 (円)	1,944,000	△ 2,096,300	3,382,000	2,500,356		

### 3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	6,396	5,719	6,630	5,818
2	稼働率 (%)	82.0	73.3	85.0	74.8

#### 4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者や家族へアンケートの実施、家族には毎日の送迎時や連絡ノート、アンケートの項目で困りごとや要望等を聴取している。また、利用者が話しやすい雰囲気づくりを心がけるとともに、利用時間内に要望等を聞く時間を確保している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 アンケートでは、入浴時間の延長希望や、食事の量が多い、職員に名札を着用ほしい等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	毎日のミーティングで利用者の声を共有し、利用者の個性や体調を加味し、都度対応している。職員の名札着用といった、昨年度から引き続き声の挙がっているものについて、改善に努められたい。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	利用申し込み前に1日体験デイを実施しており、施設の実際の様子を感じてもらうことで、利用者確保に繋げている。また、ホームページに曜日別の空き状況を掲載しており、施設利用を検討しやすいようにしている。 実際に利用申し込みがあった場合は、送迎時間や本人の状態を考慮しつつ、なるべく受け入れている。
(2)施設の効用の発揮	リハビリにより、車椅子利用者が歩行器を使ってトイレに行けるようになった、自宅に籠りがちだったが、デイサービスセンターに通うことで自信が芽生え、ゴミ捨てや買い物に行けるようになった、施設で絵画や習字をしたことがきっかけで、自宅でも絵を描くようになった、といった、当該施設の利用をきっかけに利用者の心身に良い影響をもたらしている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっており、事業計画時の目標人数も達成している。また、WEB動画を活用しながら研修を受講しており、コロナ禍であっても研修を受講できるよう工夫していた。 財政面に関して、指定管理業務では昨年度より収支状況が改善され、黒字決算となった。しかしながら、自主事業が赤字決算となった。サービスの特性や人手不足により増収が困難であるが、収支の回復に向け努められたい。
(4)施設の管理経費の縮減	電気の消灯、印刷枚数削減に関する意識の向上、みどりのカーテンやサーキュレーターを用い空調設備の使用量の削減、自然光の利用による電気使用量の削減を実施している。
(5)その他	1日体験デイ、広報誌の掲示のほか、ホームページの充実、レクリエーションの工夫等、利用促進に取り組んだことで、昨年度に比べ稼働率が上昇した。 地域連携については、指定管理申請書に記載のものほか、コロナ禍で苦しむ学生に対し食料を配達、小学校行事へ協力する等、積極的に取り組んでいる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。利用者や家族の声に寄り添い、真摯に向き合っていた。その結果、利用者アンケートではサービスに満足する声が多数あり、中には質のサービスに感謝する声もあった。 来年度が指定管理期間の最終年度となるが、募集要項に記載している加算の取得について取り組まれたい。